

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		理学部臨床検査技師養成コース病院実習	石田 智子	東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部	主任	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿737ml
2		教育目的の検査実習	島 裕之	福島県立総合衛生学院	学院長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿320ml、検査 残余全血40本
3		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	三島 由祐子	杏林大学 保健学部 臨床検査 技術学科	学内講師	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
4		福岡大学医学部第4学年における血液型判定実習	久保 真一	福岡大学 医学部 法医学教室	教授	①	/	なし
5		検査用の精度管理用コントロールの製造	新井 秀夫	オリエンタル酵母工業(株)	常務取締役 バイオ事 業本部長	②	②	検査残余血清1,968L
6		結核・ハンセン病等抗酸菌感染症に対する新規ワクチ ンの開発	前田 百美	国立感染症研究所	室長	②	②	全血8,525ml
7		ヒト血漿セレノプロテインPの精製およびその機能解析	斎藤 芳郎	東北大学大学院 薬学研究科	教授	②	①	血漿15バッグ、血漿8,172ml
8		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査 業務支援	岡野 正道	(公社)茨城県臨床検査技師会	生命倫理検査部門 輸 血・移植検査分野分 野長	①	/	なし
9		富山県臨床検査精度管理協議会	北島 勲	富山県臨床検査精度管理協 議会	医師	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿253ml
10		愛知県臨床検査精度管理調査(輸血検査部門)	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床検査 技師会	会長	①	/	なし
11		愛知県臨床検査技師会 輸血検査研究班 基礎講座	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床検査 技師会	会長	①	/	なし
12		輸血検査の実習	畠山 真奈美	北海道医学技術専門学校	教員	①	①	赤血球8バッグ、血漿1,175ml
13		認定輸血検査技師協議会認定試験	加藤 栄史	認定輸血検査技師協議会	試験委員長	①	/	なし
14		医学部学生の血液型判定の実習	横須賀 忠	東京医科大学 免疫学分野	主任教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
15		国家検定、収去試験、および規格試験の実施	松岡 佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	②	検査残余全血28本
16		臨床免疫学実習における輸血検査の指導	白土 佳子	埼玉県立大学	准教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿120ml
17		抗血小板抗体検出試薬製造に必要な有効期限切血小 板製剤について	吉村 成明	ベックマン・コールター・三島株式 会社 テクニカルオペレーション グループ	製造管理者	②	①	血小板189バッグ
18		マラリア原虫のガメサイト形成機構の解明	筏井 宏実	北里大学 獣医学部	准教授	②	①	赤血球12バッグ
19		輸血検査部門の精度管理	菱川 晶絵	一般社団法人 徳島県臨床検査 技師会	精度管理委員会 輸血 検査部門責任者	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ
20		埼玉県医師会臨床検査精度管理事業	金井 忠男	埼玉県医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿1,689ml
21		抗マラリア原虫薬の開発	渡邊 信元	国立研究開発法人 理化学研究 所 環境資源科学研究センター	ユニットリーダー	②	①	赤血球23バッグ
22		卒前卒後医学教育(輸血検査実習)	田野崎 隆二	慶應義塾大学病院 輸血・細胞 療法センター	教授	①	①	赤血球4バッグ
23		マラリア原虫の増殖機構及び宿主-マラリア原虫相互 作用の解明	堀井 俊宏	大阪大学 微生物病研究所	寄附研究部門教授	②	①	赤血球53バッグ、血漿16バッグ、血漿2,549ml
24		学部学生の免疫検査学実習	小松 博義	文京学院大学 保健医療技術学 部	教授	①	①	赤血球12バッグ、血漿12バッグ
25		マラリア原虫感染後の赤血球内部に構築される膜に対 する機能解析	早川 枝李	自治医科大学 医学部 医動物 学部門	助教	②	①	赤血球18バッグ、血漿6バッグ
26		ヒト赤血球膜蛋白質バンド3の構造-機能相関研究	隈 博幸	長崎国際大学 薬学部	教授	②	①	赤血球30バッグ
27		栃木県臨床検査精度管理調査	長島 徹	一般社団法人 栃木県医師会	副会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿249ml
28		輸血・移植検査学実習	登尾 一平	学校法人 銀杏学園 熊本保健科 学大学 医学検査学科	助教	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ、血小板4バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
29		アミノ酸制御による新規のマラリア治療・予防法の開発研究	嘉糠 洋陸	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座	教授	②	①②	赤血球12バッグ、血漿10バッグ、検査残余血清2,400本
30		学生実習(輸血検査学実習)	赤池 雅史	徳島大学 医学部	学部長	①	①②	赤血球1バッグ、血漿2バッグ、セグメント160本、検査残余全血45本
31		ABO式、Rh式血液型判定の検査実習	南 順子	東京工科大学	講師	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
32		日本輸血・細胞治療学会認定医制度認定試験	面川 進	日本輸血・細胞治療学会	認定医制度審議会長	①		なし
33		ABO式血液型の判定	荒木 直幸	山口県警察本部 科学捜査研究所	所長	②	②	検査残余全血144本
34		学生実習(血液型、不規則抗体検査、交差適合試験)	小野寺 利恵	山陽女子短期大学 臨床検査科	准教授	①	①②	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、検査残余全血13本
35		学生の輸血検査学実習	山田 久	学校法人明経学園 美萩野臨床医学専門学校	教員	①		なし
36		ゲノム解析を用いたマラリア薬剤耐性の研究	鈴木 穰	東京大学	教授	①②	①	赤血球16バッグ
37		献血血液を用いた医学部での教育研修	高橋 勉	秋田大学医学部附属病院 輸血部	教授 輸血部長	①		なし
38		福島県臨床検査技師会 学術部輸血・移植検査部門における教育	奥津 美穂	一般社団法人 福島県臨床衛生検査技師会	輸血・移植検査部門長	①		なし
39		器官再生医療のための三次元臓器灌流培養システムの開発	辻 孝	国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター 器官誘導研究チーム	チームリーダー	②	①	赤血球17バッグ
40		総コレステロール測定用試薬及びトリグリセライド測定用試薬の性能試験等の際に自家使用する高濃度リポ蛋白画分試料の調製	久保 純	株式会社 セロテック	研究所 所長	②	②	検査残余血清150L
41		マラリア原虫のゲノム情報に立脚した新規の診断、治療、予防法の開発研究	河津 信一郎	帯広畜産大学 原虫病研究センター	教授	②	①	赤血球9バッグ
42		石川県臨床衛生検査技師会輸血検査研究班実技研修会	長原 三輝雄	石川県臨床衛生検査技師会	会長	①		なし
43		学生実習(輸血検査)	笠原 聡	新潟医療技術専門学校	准教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿3バッグ、血漿238ml
44		大分県医師会精度管理調査(輸血検査)	近藤 稔	一般社団法人 大分県医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿1,759ml
45		岡山県精度管理調査(輸血部門)	木村 泰治	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①		なし
46		臨床検査精度管理調査	藤原 祝子	一般社団法人 長野県臨床検査技師会	精度管理事業部長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿240ml
47		犯罪鑑識における標準血球等としての利用	山形 実継	北海道警察本部 刑事部 科学捜査研究所	所長	②	②	セグメント360本
48		山口県精度管理調査及び実技講習会	洪田 秀美	一般社団法人 山口県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
49		輸血・移植検査学実習(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科の学生実習)	坂本 秀生	神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	学科長	①	①②	赤血球11バッグ、血漿1バッグ、血漿926ml、検査残余全血40本
50		輸血検査学実習	小澤 優	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科	教務部長	①	①	赤血球10バッグ、血漿1バッグ、血漿1,291ml
51		法医学実務、薬毒物分析センター実務、及び薬毒物分析法確立のため使用する。	岩井 雅枝	愛知医科大学 医学部 法医学	助教	②	②	検査残余全血4本
52		臨床検査技師 実技実習(輸血検査)	森田 益子	一般社団法人 広島県臨床検査技師会	会長	①		なし
53		岩臨技輸血・移植部門研修会	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①		なし
54		岩臨技精度管理事業 輸血・移植部門	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿249ml
55		医学教育用	江頭 弘一	久留米大学病院 臨床検査部	臨床検査技師	①	①	赤血球7バッグ、血漿1バッグ、血漿734ml
56		一般社団法人福岡県臨床衛生検査技師会輸血検査研修会	天本 貴広	一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	輸血細胞治療部門長	①		なし
57		新潟県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技講習会	近藤 善仁	新潟県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①		なし

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
58		免疫検査学実習	望月 泰男	昭和医療技術専門学校 臨床検査技師科 教務課	副校長	①	①	赤血球12バッグ、血漿9バッグ
59		急性リンパ性白血病(ALL)における定量PCRを用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立と臨床的意義の検討	眞田 昌	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 高度診断研究部	部長	②	②	検査残余全血500本
60		九州・沖縄地区臨床検査精度管理事業	檜原 真二	熊本保健科学大学	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿2バッグ、血漿11,152ml
61		血液センターから供給を受けた血液を使用した輸血検査実習	長谷川 浩子	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	臨床検査技師	①	①	血漿2バッグ、血漿515ml
62		新生児・妊婦におけるマスキリーニングの改善と精度向上	細海 伸仁	札幌市衛生研究所保健科学科	課長	②	①	赤血球1バッグ
63		公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 輸血研究班活動	加藤 正輝	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会	輸血研究班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿498ml
64		静岡県医師会臨床検査精度管理	松島 江理	静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会	臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿248ml
65		山形県臨床検査精度管理	佐藤 大亮	一般社団法人 山形県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿466ml
66		京都府臨床検査技師会精度管理調査	日下部 昌平	一般社団法人 京都府臨床検査技師会	輸血検査研究班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
67		質の高い輸血学教育研修の実践	梶原 道子	東京医科歯科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター	副センター長	①		なし
68		本学 輸血検査実習	田原 佐知子	昭和大学病院 輸血センター	臨床検査技師	①	①	赤血球84バッグ
69		学生実習(臨床免疫学における輸血検査実習)	国分寺 晃	広島国際大学	教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿6バッグ
70		輸血テクニカルセミナー実技講習会	松下 正	日本輸血・細胞治療学会	理事長	①		なし
71		二級臨床検査士免疫血清学、緊急臨床検査士資格認定試験および免疫血清学技術講習会	宮地 勇人	公益社団法人 日本臨床検査同学院	理事長	①		なし
72		佐賀県臨床検査技師会輸血実技研修会	山田 麻里江	(一社)佐賀県臨床検査技師会	輸血部門 生涯教育研修委員	①		なし
73		多項目実用参照物質の作製と評価	篠原 克幸	公益社団法人 日本臨床検査標準協議会	多項目実用参照物質委員会副委員長	①	②	検査残余血清30L
74		輸血検査の学生実習	長井 一浩	長崎大学病院 細胞療法部	副部長	①	②	セグメント280本
75		熱帯熱マラリア原虫人工染色体による遺伝子ライブラリー作製とそれを用いた薬剤耐性遺伝子の同定	岩永 史朗	大阪大学微生物病研究所	教授	②	①	赤血球96バッグ、血漿88バッグ、血漿1,199ml
76		感染症流行予測調査	梅田 浩史	厚生労働省 健康局 結核感染症課	感染症情報管理室長	②	②	検査残余血清940本
77		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	稲福 全人	学校法人 湘央学園 湘央医学技術専門学校	校長	①	①	赤血球10バッグ、血漿4バッグ
78		ヒト血液を用いた血液適合性材料のスクリーニング実験	古川 克子	東京大学大学院 工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 古川研究室	准教授	①②		なし
79		精度改善事業	片川 一之	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
80		輸血・血液型検査実習	片川 一之	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①		なし
81		マラリア原虫の分子細胞生物学的解析および時空間的動態解析	金子 修	長崎大学 熱帯医学研究所	教授	②	①	赤血球49バッグ、血漿3バッグ、血漿1,607ml
82		学生教育における血液型実習	塚 正彦	金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科	教授	①		なし
83		輸血検査実技研修会	亀山 拓哉	(一社)静岡県臨床衛生検査技師会	臨床検査技師	①		なし
84		輸血教育学	杉山 芳樹	東京医学技術専門学校	学校長	①	①	赤血球9バッグ
85		(一社)島根県臨床検査技師会 精度管理調査 輸血検査部門	錦織 昌明	(一社)島根県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿4バッグ
86		佐賀県医師会臨床検査精度管理調査	枝國 源一郎	公益財団法人 佐賀県健康づくり財団	専務理事(臨床検査担当理事)	①	①	赤血球5バッグ、血漿706ml

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
87		ヘルパーT細胞を基軸とした免疫制御機構の解明と次世代がんワクチンの開発に関する研究	北村 秀光	北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫機能学分野	准教授	②		なし
88		滋賀県臨床検査技師会精度管理事業(輸血部会)	山下 朋子	(公社)滋賀県臨床検査技師会	滋賀県臨床検査技師会 精度管理委員輸血部会代表	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿207ml
89		広島県臨床検査精度管理調査	松村 誠	広島県医師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿6バッグ
90		精度管理調査用試料として	浅野 敦	一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿476ml
91		滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	山中 博之	(公社)滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①		なし
92		輸血検査実技講習	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①		なし
93		輸血・移植免疫学実習	五十嵐 康之	北里大学保健衛生専門学院	専任教員	①	①	赤血球5バッグ、血漿7バッグ、血漿271ml
94		千葉県臨床検査技師会輸血部門精度管理	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球1バッグ
95		マラリアワクチンの研究	坪井 敬文	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	教授	②	①	赤血球22バッグ、血漿1,402ml
96		マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究	石野 智子	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	准教授	②	①	赤血球12バッグ、血漿2,827ml
97		学生実習(輸血検査)	藤井 聡	旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部	部長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿215ml、セグメント160本
98		輸血用血液の安全性確保のための研究	岡崎 仁	東京大学医学部附属病院 輸血部	教授	①		なし
99		福島県臨床検査技師会 精度管理事業	田村 功	福島県臨床検査技師会	精度管理事業部 精度管理委員長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ
100		人工赤血球(赤血球代替物)の開発	小松 晃之	中央大学 理工学部	教授	①②	①	赤血球4バッグ
101		医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保障する精度管理調査試料の作製と活用	宮島 喜文	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	代表理事会長	①	②	検査残余血清70L
102		マラリア原虫の <i>in vitro</i> 培養系を用いた薬剤耐性研究	杉下 智彦	東京女子医科大学	教授	②	①	血漿8バッグ
103		医療機器の評価	二川 敬文	株式会社 常光 医療機器開発部	部長	②	②	検査残余全血30本、検査残余血清210本
104		学生における輸血検査教育・実技講習	池田 和彦	福島県立医科大学	教授	①	①	赤血球52バッグ
105		初期研修医 輸血検査実習	鷹野 壽代	雪の聖母会 聖マリア病院	中央臨床検査センター長	①	①	赤血球3バッグ、血漿703ml
106		培養熱帯熱マラリア原虫を用いた薬剤標的分子の探索研究	金 恵淑	岡山大学	准教授	②	①	赤血球19バッグ、血漿474ml
107		マラリア原虫のオルガネラの解析	野崎 智義	国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科 生物医化学教室	教授	②	①	赤血球22バッグ
108		新生児マスキリーニングの精度管理	但馬 剛	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター研究所 マスキリーニング研究室	室長	②	②	全血676ml
109		輸血実技講習会	清川 知子	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部輸血検査部門	世話人責任者	①		なし
110		マラリア原虫ミトコンドリアDNA複製機構の解明	松下 正	名古屋大学医学部附属病院 輸血部	教授	②	①	赤血球5バッグ
111		好中球活性化制御に注目した敗血症病態解析と治療法開発	西堀 正洋	岡山大学大学院 学術研究院 医歯薬学域	教授(特任)	②		なし
112		東京都臨床検査技師会 輸血レベルの向上を目指した教育的使用①実技講習会 ②標準化事業精度管理調査および発表講習会	原田 典明	公益社団法人 東京都臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿6バッグ
113		血漿由来フォンビルブランド因子の精製	松本 雅則	奈良県立医科大学	教授	②		なし
114		ホルマリン固定血小板の作成	松本 雅則	奈良県立医科大学	教授	②		なし
115		輸血検査実習	竹下 明裕	浜松医科大学医学部附属病院	病院教授	①	①	赤血球12バッグ、血漿8バッグ、血漿795ml

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
116		学生実習(輸血検査学、臨床検査体験演習など)	一原 直人	純真学園大学 保健医療学部 検査科学科	准教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿939ml
117		第2学年対象 輸血・移植検査学実習	横尾 智子	新渡戸文化短期大学 臨床検査 学科	教授	①	①	赤血球28バッグ、血漿18バッグ
118		宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門 実技研修会	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	/	なし
119		宮城県臨床検査技師会 精度管理調査	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ、血漿254ml
120		熱帯熱マラリア原虫の赤血球侵入機構および細胞内 物質輸送機構の解析	伊藤 大輔	鳥取大学 医学部	助教	②	①	赤血球24バッグ、血漿480ml
121		感染症検体パネルの整備	加藤 孝宣	国立感染症研究所	ウイルス第二部長	②	①	血漿9,200ml
122		マラリア原虫生殖母体周縁のコイル状構造:未知の細胞 骨格の可能性	竹尾 暁	杏林大学 医学部 感染症学講 寄生虫学部門	准教授	②	①	赤血球2バッグ
123		石川県医師会臨床検査精度管理調査	安田 健二	石川県医師会	医師	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿668ml
124		臨床化学検査の外部精度管理調査における最適な調 査試料の作製と評価	坂本 徳隆	一般社団法人 福岡県臨床衛生 検査技師会	精度管理事業部長	①	②	検査残余血清45L
125		学生実習(輸血検査)	重松 康之	大阪医療技術学園専門学校 臨 床検査技師科	学科長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿1バッグ、血漿441ml、検査 残余全血8本
126		備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を 目指す研究	酒井 宏水	奈良県立医科大学	教授	①	①	赤血球36バッグ
127		免疫ヒト化マウスの作成と応用(献血利用)	竹原 徹郎	大阪大学大学院 医学系研究科	教授	②	/	なし
128		佐賀大学医学部附属病院検査部内の実技講習会	山田 麻里江	佐賀大学医学部附属病院 検査 部	主任	①	①	赤血球3バッグ、血漿779ml
129		輸血研修会試料として使用	手登根 稔	一般社団法人 沖縄県臨床検査 技師会	会長(臨床検査技師)	①	①	血漿438ml
130		輸血学実習授業のための譲渡血	山田 武司	愛媛県立医療技術大学 保健科 学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
131		輸血検査に係る実技講習会	小野 誠司	札幌臨床検査技師会	会長	①	/	なし
132		臨床検査精度管理調査	茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会	会長	①	①	赤血球9バッグ、血漿5バッグ、血漿1,648ml
133		学生実習用	安倍 正博	徳島大学病院 輸血・細胞治療 部	部長(准教授)	①	②	検査残余全血16本
134		埼玉県臨床検査技師会 輸血検査実技研修会	神山 清志	公益社団法人 埼玉県臨床検査 技師会	会長	①	/	なし
135		免疫検査学実習における輸血関連検査	太田 悦朗	北里大学 医療衛生学部	講師	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
136		臨床検査技師育成課程における輸血検査実習	川村 宏樹	新潟医療福祉大学 医療技術学 部 臨床技術学科	准教授	①	①	赤血球9バッグ、血漿1バッグ、血漿959ml
137		卒後臨床研修輸血検査実習	平野 公通	兵庫医科大学病院 医療人育成 研修センター 卒後研修室	室長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
138		検査試薬に対する非特異反応等回避への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所 所長	②	②	検査残余血漿300本、検査残余血清2,400本
139		脳梗塞再生治療に用いる骨髄幹細胞培養に使用する 血小板溶解物の作成	寶金 清博	北海道大学	総長	②	①	血小板50バッグ
140		臨床検査実習	稲垣 昌博	昭和大学 富士吉田教育部	教授	①	①	全血1,082ml、赤血球4バッグ
141		感染症検査試薬の新規開発および改良検討	金子 敦	富士レボオ株式会社	試薬開発部長	①②	②	検査残余血清8,154本
142		歯科臨床検査法における血液成分検査・血液型検査	芝田 登美子	三重県立公衆衛生学院	学院長	①	②	検査残余全血4本
143		ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究	西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理セン ター	専任講師	②	②	全血1,913ml
144		輸血・移植検査学実習	畑中 徳子	天理医療大学 医療学部 臨床 検査学科	准教授	①	/	なし

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
145		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	播磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
146		マラリア原虫のライフサイクル分子基盤解明	美田 敏宏	順天堂大学	教授	②	①	赤血球12バッグ、血漿10バッグ
147		生命科学部・2年 基礎生命科学実習Ⅱ・学生実習(医療計測)	平位 秀世	東京薬科大学	教授	①	/	なし
148		NATコントロールサーベイ事業(血液対策課委託事業)	浜口 功	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	①	血漿6バッグ
149		熱帯熱マラリア原虫の細胞内物質輸送機構の解析	入子 英幸	神戸大学大学院 保健学研究科	准教授	②	①	赤血球11バッグ
150		新鮮血液のABO式血液型判定実習	上野 易弘	神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学健康科学講座 法医学分野	教授	①	/	なし
151		再生医療用途を目的とした人工酸素運搬体の開発	伊藤 大知	東京大学大学院医学系研究科	教授	②	①	赤血球2バッグ
152		学生実習及び認定輸血検査技師試験研修	康 東天	九州大学病院 検査部	検査部長	①	①	血漿2バッグ、血漿906ml
153		血中微生物回収方法の検討に用いる試料としての献血血液の使用	福島 雅夫	ニッポーメディカル株式会社	メディカル研究開発センター長	②	②	全血323ml
154		獨協医科大学病院 令和2年度臨床研修医卒後教育輸血検査実習	三谷 絹子	獨協医科大学病院 輸血部	部長	①	/	なし
155		輸血検査実技講習会	名嘉真 園枝	三重県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	/	なし
156		学生に対する教育目的	中村 文隆	帝京大学ちば総合医療センター検査部	部長	①	/	なし
157		iPS細胞由来血小板の製剤化に向けた研究	熊谷 善弘	株式会社メガカリオン	研究開発担当上席執行役員	①②	①	血小板19バッグ
158		学生学内実習	熊取 厚志	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ
159		日本総合健診医学会精度管理調査	五関 善成	一般社団法人 日本総合健診医学会	精度管理委員会 委員長	①②	②	検査残余血清14,000ml
160		体外診断用医薬品の品質管理	柿沼 幸利	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 診断薬カスタマーサポート部	部長	①②	②	検査残余全血480本
161		輸血検査精度管理調査	山本 茂一	株式会社カイノス	学術部長	①②	①	赤血球2バッグ、血漿3バッグ、血漿1,172ml
162		検査技師実習	廣田 雅子	東京工科大学 医療保険学部 臨床検査学科	准教授	①	①	血漿461ml
163		既承認体外診断用医薬品における品質管理試験	殿岡 健太郎	株式会社シマ研究所 薬事部	部長	②	②	検査残余血清400本
164		ヒト血液型糖鎖抗原の機能解析	竹松 弘	藤田医科大学 医療科学部	教授	②	/	なし
165		熱帯熱マラリア原虫のin vitro培養系による病原機構の解明	中野 由美子	国立感染症研究所 寄生動物部	主任研究官	②	①	赤血球26バッグ、血漿12バッグ
166		新人臨床検査技師の技能研修	福田 智	独立行政法人 国立病院機構 中国四国グループ	臨床検査専門職	①	/	なし
167		医学部における輸血検査実習	宮地 勇人	東海大学 医学部	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
168		奈臨技輸血研究班主催 令和2年度輸血検査実技研修会にて使用する検体準備のため	勝山 政彦	一般社団法人 奈良県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
169		山梨県医師会精度管理事業	多田 正人	一般社団法人 山梨県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
170		Wakoコントロールサーベイ(輸血検査)	中井 剛史	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬学術研究本部 東日本学術部	課長	②	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿516ml
171		コンポーネントワクチン作製のためのワクチンターゲット決定法の開発	安居 輝人	医薬基盤・健康・栄養研究所	プロジェクトリーダー	②	②	白血球除去後フィルター6個
172		培養マラリア原虫を用いた簡便なマラリア原虫検出システム構築研究	橋本 宗明	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	主任研究員	②	①	赤血球12バッグ、血漿2,811ml
173		ウイルス感染症に対するT細胞応答の解析	立川 愛	国立感染症研究所	室長	②	/	なし

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
174		ヒト臍帯血液幹細胞の増幅と血球系細胞への分化能に関する研究	内田 恵理子	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部	主任研究員	②	②	全血732ml
175		B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主遺伝子の探索研究	徳永 勝士	国立国際医療研究センター研究所 ゲノム医学プロジェクト	戸山プロジェクト長	②	②	検査残余全血10本、検査残余血清10本
176		パルスオキシメータ評価用血液循環シミュレータの開発	小林 直樹	日本光電工業(株) 荻野記念研究所	所長	②	②	全血4,580ml
177		輸血・移植検査学実習に使用	石川 文雄	つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿8バッグ、血漿674ml
178		POCT向け血糖およびHbA1c検査の精度管理用コントロール血液の開発	菱沼 義寛	病態解析研究所	研究員	②	②	全血763ml
179		力学的刺激による血液凝固因子活性の定量解析	小阪 亮	国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門	主任研究員	②		なし
180		血漿中プラスミノゲンの内皮細胞における機能解析	浦野 哲盟	浜松医科大学	教授	②	①	血漿2,295ml
181		赤血球期マラリアを用いた新規抗マラリア薬スクリーニング	水上 修作	長崎大学 熱帯医学研究所 免疫病態制御学分野	准教授	②	①	赤血球49バッグ、血漿2バッグ、血漿705ml
182		京都府臨床検査技師会 実技講習会	日下部 昌平	一般社団法人京都府臨床検査技師会 輸血研究班	班長	①		なし
183		抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	水上 拓郎	国立感染症研究所	血液・安全性研究部 第四室長	②	①	血漿4バッグ、血漿14,013ml
184		iPS細胞技術を基盤とする血小板製剤の開発と臨床試験	江藤 浩之	京都大学 iPS細胞研究所	教授	①②	①	血漿20バッグ
185		輸血検査精度管理	安田 祐子	三重県臨床検査技師会	輸血検査精度管理担当	①	①	赤血球3バッグ、血漿479ml
186		輸血検査実技講習会	佐藤 元恭	(公社)大分県臨床検査技師会	会長	①		なし
187		密度勾配連続細胞分離法による好塩基球の分離、濃縮	塩野 裕之	愛知医科大学 生理学	シニア講師	②	②	白血球除去後フィルター5個
188		初級者対象輸血検査実技研修会	南部 重一	一般社団法人 富山県臨床検査技師会	臨床検査技師	①		なし
189		感染症安全対策体制整備事業輸血の安全性確保を目指した感染症安全対策体制構築のための研究	浜口 功	国立感染症研究所 血液・安全性研究部	部長	①②	①	血漿248ml
190		犯罪鑑識を目的とした血液の利用について	増井 聡亮	滋賀県警察本部 刑事部 科学捜査研究所	総括研究員	②	②	検査残余全血50本
191		抗原変異するウイルス感染症に有効なワクチン研究開発	高橋 宜聖	国立感染症研究所 免疫部	部長	②		なし
192		精度管理調査における献血血液の利用	渡邊 博昭	(一社)新潟県臨床検査技師会	会長	②	②	全血763ml
193		香川県立保健医療大学臨床検査学科学士の輸血検査学実習教育における使用	井伊 久美子	香川県立保健医療大学	学長	①		なし
194		ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発	篁 俊成	金沢大学大学院 医学系研究科	教授	②	①	血漿17バッグ、血漿7,459ml
195		輸血検査の理解と技術向上	細川 早織	高松赤十字病院 検査部	輸血検査係長	①	①②	血漿1バッグ、セグメント10本
196		臨床免疫学実習	伊藤 洋志	長浜バイオ大学	准教授	①		なし
197		臨床検査学科における免疫検査学(含む輸血検査学)、臨床化学等の検査学実習	脇 英彦	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	学科長/教授	①	①②	赤血球10バッグ、血漿4バッグ、血漿233ml、検査残余全血42本、検査残余血清200本
198		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	播磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門長	①		なし
199		学生に対する教育目的	藤原 実名美	東北大学病院 輸血・細胞治療部	副部長	①		なし
200		臨床検査技師養成大学における臨床免疫学実習 I	坊池 義浩	神戸学院大学 栄養学部	講師	①	①②	赤血球1バッグ、血漿1バッグ、血漿230ml、セグメント40本、検査残余全血29本
201		ヒト末梢血単球を用いた免疫応答反応のメカニズム解明	中川 晋作	大阪大学大学院 薬学研究科	教授	②	②	全血3,448ml
202		肝臓疾患における線維化マーカーとしてのTGF-β活性化反応の血清中の定量的解析および肝組織分布の検討	古谷 裕	国立研究開発法人理化学研究所 開拓研究本部 肝がん予防研究ユニット	上級研究員	②	②	検査残余血漿150ml

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
203		痛風・高尿酸血症リスクに関連するABCG2遺伝子の解析: Jra抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討	松尾 洋孝	防衛医科大学校 分子生体制御学講座	准教授	②		なし
204		ヒト血液を使用した血液ポンプの溶血試験	小阪 亮	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門	主任研究員	②	②	全血2,579ml
205		関節リウマチにおける骨破壊のメカニズムに関してヒト末梢血単球を使用した研究	村田 浩一	京都大学大学院 医学研究科 リウマチ性疾患先進医療学講座	特定助教	②	②	白血球除去後フィルター13個
206		(一社)神奈川県臨床検査技師会 精度改善事業	片川 一之	(一社)神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ
207		免疫検査学実習 輸血関連検査実習	山口 聡	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科	学科長	①	①	赤血球8バッグ、血漿4バッグ、血漿247ml
208		学生に対する教育目的	政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究院	准教授	①	①②	赤血球5バッグ、血漿4バッグ、セグメント120本、検査残余全血100本
209		香川県輸血検査研究班輸血検査研修会/香川県輸血検査外部精度管理調査	荒井 健	香川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
210		全衛連臨床検査精度管理調査	高木 康	公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 臨床検査専門委員会	委員長	①	②	検査残余全血10L
211		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	小野川 傑	埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球8バッグ、血漿7バッグ、血漿225ml
212		鳥取県臨床検査精度管理調査	湯田 範規	一般社団法人 鳥取県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
213		新規HTLV-1抗体検出試薬の開発	野田 健太	シスメックス株式会社診断薬エンジニアリング本部タンパク技術グループ	部長	①②	①	血漿9バッグ、血漿22,764ml
214		血液型検査試薬の検討	藤田 崇	富士フイルム和光純薬株式会社臨床検査薬学術研究本部 臨床検査薬研究所	課長	①	①②	赤血球30バッグ、検査残余全血2,521本
215		血液センター供給血を用いた輸血移植学実習	赤堀 ゆきこ	国際医療福祉大学	助教	①	①	赤血球6バッグ、血漿5バッグ
216		地域における血液製剤の運搬・管理体制の構築	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①		なし
217		赤血球製剤及び血漿分画製剤における病原体不活化法の研究及びB型・C型肝炎ウイルスの培養系の確立	岡田 義昭	埼玉医科大学 医学部	准教授	①②	①	赤血球2バッグ、血漿450ml
218		献血血液由来のヒト末梢血細胞を用いた免疫賦活化物質による免疫応答機構の解析	石井 健	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター モックアップワクチンプロジェクト	招へいプロジェクトリーダー	②		なし
219		輸血検査学実習	林 由里子	群馬バース大学 保健科学部 検査技術学科	講師	①	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ、血漿253ml
220		インドネシアの生物資源多様性を利用した抗マラリア新規薬剤リード化合物の創成	北 潔	長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科	教授	②	①	赤血球50バッグ
221		東京都登録衛生検査所の精度管理事業	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
222		癌の進展および治療抵抗性におけるヒト末梢血由来単核球の機能解析	下田 将之	慶應義塾大学 医学部 病理学教室	准教授	②		なし
223		輸血実技講習会	木村 泰治	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①		なし
224		ぶどう膜炎をはじめとする眼炎症疾患の眼炎症発作の病態を反映する生物指標の探索	園田 康平	九州大学大学院 医学研究院 眼科	教授	②	②	全血403ml
225		携帯型近赤外分光装置の血液ファントム評価	渡辺 享志	浜松ホトニクス株式会社 GSCC ビジネス・アクセラレータ 近赤外生体応用	部員	②	②	全血1,425ml
226		Medical gasによる血小板保存法の開発	矢倉 富子	東京医科大学人体構造学分野	講師	①	①	血小板4バッグ
227		福井県臨床検査技師会輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会	海老田 ゆみえ	福井県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①		なし
228		A型およびE型肝炎ウイルス特異的モノクローナル抗体の作製	寺原 和孝	国立感染症研究所 免疫部	主任研究官	②		なし
229		ヘリコバクター・ピロリ抗体検出用試薬の標準品・コントロール製品の製造	佐藤 徹	栄研化学 那須工場	工場長	②	①	血漿49バッグ、血漿244ml
230		皮膚疾患の臨床像に対するT細胞の関与の検討	渡辺 玲	筑波大学 医学医療系皮膚科	講師	②	②	白血球除去後フィルター8個
231		山形県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	加藤 美加	山形県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球1バッグ、血漿1バッグ、血漿258ml、血漿分注235ml

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
232		山形県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 精度管理	加藤 美加	山形県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球4バッグ、血漿497ml
233		HIV感染細胞のHIV潜伏感染と活性化の機序についての解析	前田 賢次	国立国際医療研究センター	室長	②		なし
234		ヒト赤血球由来プロテアソームの構造研究	森本 幸生	京都大学 複合原子力科学研究所	教授	②	①	赤血球5バッグ
235		有効なクリオプレシテートの院内調製と凍結乾燥化の基礎検討	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	血漿4バッグ、血漿1,879ml
236		災害臨床における医学薬学共同による無人航空機(UAV)の活用 ドローンによる血液製剤搬送	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	赤血球19バッグ
237		悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の研究開発	籠谷 勇紀	愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫応答研究分野	分野長	②	②	全血768ml
238		献血血液を用いた動脈血栓症診断を可能にする血液検査法の研究	坂田 飛鳥	奈良県立医科大学 血栓止血医薬生物学	助教	②		なし
239		微小振動環境下における赤血球の流動特性に関する実験的研究	百武 徹	横浜国立大学	准教授	②	②	検査残余全血20本
240		プロテインS-K196E変異検出法の開発	小林 克史	シスメックス株式会社 診断薬エンジニアリング本部	部長	②	②	全血11,342ml
241		HBVマーカー検査のサーベイに関する研究	松岡 佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	②	①	血漿2バッグ、血漿944ml、血漿分注2,025ml
242		油症におけるダイオキシン類・PCBの人体暴露と評価手法に関する研究 ③血液中ダイオキシン類・PCB濃度測定の精度管理	堀 就英	福岡県保健環境研究所	生活化学課長	②	②	全血781ml
243		体外循環における回路内血液凝固の専属的検出システム構築	坂元 英雄	公立小松大学	講師	②	②	全血14,873ml
244		マラリア伝播阻止を目指した熱帯熱マラリア原虫のインビトロにおける基礎研究	田中 健	香川大学 医学部	助教	②		なし
245		分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索	楠原 洋之	東京大学大学院 薬学系研究科	教授	②		なし
246		令和2年度(第33回)和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査	竹中 正人	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①		なし
247		血小板機能・寿命及び情報伝達経路における糖鎖、apoptosis関連タンパク、kinase、免疫受容体、接着分子の役割の解析	上妻 行則	学校法人 銀杏学園 熊本保健科学大学 医学検査学科	准教授	①②		なし
248		日臨技近畿支部における輸血講習会の開催	坊池 義浩	日本臨床衛生検査技師会 近畿支部	輸血細胞治療部門長	①		なし
249		SMBG用コントロール物質の製造	田中 善孝	日水製薬株式会社 研究部	部長	②		なし
250		HBs抗原陽性若年献血者におけるHBワクチンエスケープ変異株の検討	四柳 宏	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野	教授	②	②	検査残余血漿76本
251		希少糖をベースとした新規抗マラリア薬の開発	新井 明治	香川大学 医学部	准教授	②	①	赤血球7バッグ、血漿2,044ml
252		ヒト血漿からのアディポネクチン精製とその炎症抑制機構の解明	中野 泰子	横浜薬科大学	教授	②		なし
253		輸血検査の精度の確保に関する研究	大友 直樹	東京医科歯科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター	臨床検査技師長	①		なし
254		ECMO症例におけるMicrovesiclesの臓器障害に対する役割の検討	若林 健二	東京医科歯科大学 生体集中管理学分野	講師	②	②	全血9,404ml
255		標準血清およびコントロール血清への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所所長	②	①②	血漿20バッグ、検査残余血清5,000本
256		日本人におけるT細胞受容体・B細胞受容体の多様性に関する研究	山下 和男	KOTAIバイオテクノロジー株式会社	代表取締役	②	②	白血球除去後フィルター288個
257		ヒト血液を用いたin vitro培養系のマラリア原虫のオルガネラの解析	彦坂 健児	千葉大学大学院 医学研究院 感染生体防御学	講師	②	①	赤血球18バッグ
258		公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 ヘモグロビンA1c精度管理事業での使用	高田 厚照	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会	会長	①		なし
259		千葉県臨床検査技師会精度管理調査ならびに千葉県検査値統一推進事業	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①		なし
260		長野県における輸血検査教育	小嶋 俊介	信州大学医学部附属病院 輸血部	主任臨床検査技師	①		なし

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
261	○	中毒疹における原因疾患の早期鑑別診断法の開発	中川 幸延	大阪大学医学系研究科皮膚科	助教	②	②	白血球除去後フィルター40個
262	○	献血血液等 検査残余血液(全血):EDTA採血を用いた品質確認試験(検査)	黒澤 竜雄	富士フイルム 和光純薬株式会社 三重工場	品質管理部長	②	②	検査残余全血450本
263	○	養子細胞免疫療法を目標とした抗原特異的T細胞作成法樹立の研究	赤塚 美樹	名古屋大学	特任教授	②	②	全血3,550ml
264	○	輸血・移植検査学実習	内堀 恵美	京都橘大学健康科学部臨床検査学科	専任講師	①	/	なし
265	○	大阪大学医学部保健学科輸血検査実習	永峰 啓丞	大阪大学医学部附属病院輸血部	主任臨床検査技師	①	①	血漿1,003ml
266	○	自己免疫介在性脳炎・脳症に関する前駆期研究 201802	高橋 幸利	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	院長	②	②	保管年限(11年)を超えた調査用の血液6本
267	○	成分献血ドナーを対象としたiPS細胞由来の巨核球細胞ストック及び血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿60バッグ、血小板2バッグ、血小板540ml
268	○	先進医療機器のための抗血栓材料の開発	田中 賢	九州大学先端物質化学研究所	教授	②	②	全血2,298ml
269	○	新規凍結乾燥技術を用いたヒト濃縮多血小板血漿のマウス子宮・卵巣投与による子宮内膜再生・及び卵巣機能に及ぼす影響とその作用機序の解明	木村 正	大阪大学大学院医学研究科産科学婦人科学講座	教授	②	②	全血1,226ml
270	○	日本臨床検査技師会中四国支部輸血研修会	錦織 昌明	島根県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
271	○	(一社)愛媛県臨床検査技師会精度管理調査事業(輸血分野)	高村 好美	(一社)愛媛県臨床検査技師会	会長/臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿4バッグ
272	○	令和2年度愛臨技・四国合同研修会(輸血検査研究班)(仮名)	高村 好美	(一社)愛媛県臨床検査技師会	会長/臨床検査技師	①	/	なし
273	○	体外診断用医薬品の開発	絹川 秀樹	アボットジャパン合同会社 総合研究所	研究プロジェクト室長	①②	②	検査残余血漿3,050本、検査残余血清3,050本
274	○	マラリア原虫におけるジャスモン酸類生成遺伝子の解明	関根 将	森ノ宮医療大学 保健医療学部臨床検査学科	助教	②	/	なし
275	○	精度管理試料への献血血液製剤の応用	芳村 一	株式会社シノテスト R&Dセンター	センター長	②	①	血漿7バッグ
276	○	ナショナルバイオリソースプロジェクトにおけるマラリア原虫株の培養と維持管理	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所 生物資源室	室長/教授	②	①	赤血球1バッグ
277	○	急性期心原性脳塞栓症患者に対する自己骨髄単核球投与治療法の確立と細胞分離機器の開発	久保 寛嗣	日本光電工業(株) 荻野記念研究所 CR開発部	課長	②	/	なし
278	○	新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	助教	②	②	白血球除去後フィルター5個
279	○	悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	助教	②	②	白血球除去後フィルター5個
280	○	ヒト免疫記憶細胞の製造方法の開発	徳元 康人	埼玉医科大学	講師	②	②	白血球除去後フィルター2個
281	○	抗マラリア活性化化合物の探索と創薬研究	和田 章	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター	専任研究員	②	①	赤血球18バッグ、血漿1バッグ、血漿224ml
282	○	マイクロ流路デバイス用の前処理チップの開発	福島 雅夫	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	②	全血2,527ml
283	○	細菌前処理方法の自動化検討	福島 雅夫	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	②	全血273ml
284	○	体外診断用医薬品の開発研究	太田 紘子	旭化成ファーマ株式会社 診断薬薬品部	主幹研究員	①②	②	検査残余血清2,500本
285	○	血液分析装置用試薬開発における性能評価及び検体間事例の抽出	伊藤 禎司	日本光電工業株式会社 技術開発本部IVD技術開発部 第三技術部	部長	②	②	検査残余全血250本、検査残余血漿250本、検査残余血清250本
286	○	臨床検査技師実習技能研修(輸血)	北沢 敏男	国立病院機構関東甲信越グループ	臨床検査専門職	①	/	なし
287	○	輸血検査実技研修会	坂元 あい子	一般社団法人宮崎県臨床検査技師会	輸血部門長	①	/	なし
288	○	血小板機能低下に対し新鮮凍結血漿や血小板製剤投与がトロンボエラストメリー(ROTEM)上の血餅硬度や血餅安定化に及ぼす影響	小森 万希子	東京女子医科大学東医療センター 麻酔科	部長	①	/	なし
289	○	日本臨床衛生検査技師会中部圏支部輸血実技研修会	浅野 敦	岐阜県臨床検査技師会	会長	①	/	なし

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
290	○	臨床検査技師養成大学における臨床免疫学(輸血療法検査)教育・手技の修得	柴田 宏	北陸大学	教授(臨床免疫学担当)	①	①②	赤血球2バッグ、検査残余全血10本
291	○	コントロール血液・血清による日常検査の精度管理	西谷 陽子	熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座	教授	②	②	全血409ml
292	○	令和2年度和歌山県臨床検査技師会輸血研究班勉強会(実技)	竹中 正人	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①		なし

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		赤血球系前駆細胞の分化過程における赤血球抗原発現量の解析	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血10本、白血球除去フィルター3個
2		献血者における抗A・抗B抗体価低下の調査	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3,300本
3		赤血球型に関する遺伝子多型の解析	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血12本
4		同定不能検体を対象とした血液型遺伝子検査法の構築	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血10本
5		単球貪食試験用パネル	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血156本
6		ABO異型血小板輸血における不応原因の血小板貪食試験による評価	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1,369本
7		白血球・血小板型ワークショップ	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
8		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の解析	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿178バッグ、検査残余血漿120本
9		抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿2バッグ、血算用検体2本
10		HEV NAT検査システムの評価および感染実態調査の試料(一部はパネル)	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿182バッグ、検査残余血清1,507本
11		パルボB19抗原検査システムの評価および陽性検体の解析(一部はパネル)	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿153バッグ
12		期限切れ血小板製剤、全血白血球除去フィルター由来血小板及び全血由来血小板からのplatelet lysate (PL)の調製と性状評価	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿75バッグ、血小板
13		自動全血分離装置TACSIを用いた全血由来血小板製剤の調製の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血39バッグ
14		新鮮凍結血漿の融解装置の性能評価	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血4バッグ、血漿6バッグ
15		自動輸血検査装置の評価試験	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球11バッグ、血漿11バッグ、検査残余全血7,332本
16		HLA・HNA・HPA抗体検出法の開発等に係るパネル	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1,015本
17		感染症検査の精査とパネル化(ALT高値異常、梅毒TP抗体プロゾーン検体)	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿11バッグ
18		HTLV-1抗体追加検査ロジックの妥当性の検証	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清135本、血算用検体135本
19		白血球数試験の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体(血小板)、その他(白血球数試験残余検体)6本
20		品質データ取得に関する検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血2バッグ、血小板2バッグ
21		製造部門に係る技術的検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	全血48バッグ、赤血球8バッグ、血小板2バッグ、血算用検体373本、その他(白除後全血検体)40本、その他(血小板分割時の廃棄チューブ)41本
22		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球44バッグ、血漿139バッグ、検査残余全血1,131本
23		不規則抗体検査用赤血球試薬の製造	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球20バッグ、検査残余全血91本
24		モノクローナル抗体の作製に係る使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血70本、白血球除去フィルター1個
25		検査に係る教育訓練としての使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血29本
26		製造に係る教育訓練としての使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球12バッグ、血漿4バッグ
27		クリオプレピシテートの簡易迅速な調製方法の検討及び脱クリオの原料血漿への転用に関する研究	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿100バッグ
28		血液型検査用試薬検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血605本
29		献血者における抗A・抗B抗体価低下の調査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3,100本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
30		自動血球計数装置の評価試験準備としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血2バッグ
31		血液型・亜型・抗体同定等の確認・検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血1バッグ、赤血球63バッグ、血漿56バッグ、検査残余全血1,127本
32		自動検査機器の精度管理用(原料血用・抗原陰性血用)としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球85バッグ
33		血清学的検査陽性かつ個別NAT陰性検体の解析のための使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ、血漿327バッグ
34		ABOまたはRh等精査における使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球38バッグ、血漿32バッグ
35		モノクロー抗体、抗原陰性血検素用としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
36		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球128本、検査残余全血1840本
37		モノクローナル抗体試薬等の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	全血2バッグ、赤血球1バッグ、検査残余全血1,047本
38		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の解析	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿821バッグ、検査残余血漿527本
39		フローサイトメーター(Navios)の精度管理としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体4本
40		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球145バッグ、検査残余全血6,142本
41		用手法用血球試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球173バッグ
42		製造に係る教育訓練としての使用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球28バッグ、血漿13バッグ
43		血小板製剤に関する予備検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	赤血球5バッグ、血漿23バッグ、血小板75バッグ、血小板数測定用検体3本
44		PAS血小板から調整した洗浄血小板に関する検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板2バッグ
45		改良BRS-Aの製品化を目指した製剤学的検討及び血小板保存性能の評価	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	血小板28本、血小板数測定用検体2本
46		クリオプレシピテートの迅速調整及び脱クリオの原料血漿への転用に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿265バッグ
47		新規購入したフローサイトメーターの使用確認	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	血小板数測定用検体6本
48		赤血球製剤に関わる一変承認申請試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血85バッグ、赤血球6バッグ
49		大量出血症例における冷蔵血小板の有効性をex vivoで探索するための前向き観察研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球2バッグ、血小板5バッグ
50		用手法調製PAS-PC由来洗浄血小板の品質	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿2バッグ、血小板20バッグ
51		細菌スクリーニング導入に伴うPC有効期限延長に係る承認申請用試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板17バッグ
52		アロ抗体による血小板貪食試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	血小板数測定用検体239本
53		非溶血性副作用調査及び新規検査方法開発に関連した白血球抗体の検出	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血1,935本、セグメント165本
54		非溶血性輸血副作用検査の健常人対象としての使用	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	HLA用検体8本
55		赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の開発に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球9本
56		新型コロナウイルス(SARS-CoV2)の献血血液を用いた抗体キットの性能評価のため	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	②	②	検査用検体1,530本
57		細菌感染が疑われた、または確定した血液製剤および汚染原因菌株の精査	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板6バッグ
58		全自動細菌培養検査装置BacT/ALERT 3DとVIRTUOの比較	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球3バッグ、血小板1バッグ
59		細菌スクリーニング事前検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血3バッグ、赤血球9バッグ、血小板3バッグ
60		血小板機能を反映したin vivoモデルの開発とその改良	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板1バッグ

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
61		動物モデルを用いた血小板製剤の in vivo 機能評価法の有効性についての検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板1バッグ
62		血小板製剤の不活化技術に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	赤血球1バッグ、血小板52バッグ、血小板数測定用検体7本
63		血液型遺伝子の多型解析と検査法の確立	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血208本
64		白血球数試験における測定装置の評価試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血9バッグ、血漿3バッグ、血小板3バッグ
65		自動輸血検査装置の評価試験	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血57本
66		PK血球試薬の本社依頼品質試験用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血30,000本
67		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1,800本
68		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿45バッグ、検査残余全血2,695本
69		血液型検査三次検査での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2,500本
70		苦情調査(クロスマッチ)での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
71		血液型検査に使用する生理食塩水の受入試験での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
72		梅毒追加検査(RPR法)の陰性コントロール作成	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿30本
73		検査に係る教育訓練としての使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板3バッグ、検査残余全血50本
74		検査に係る機器・設備の導入等における適格性評価での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血800本
75		製造に係る機器・設備の導入等における適格性評価での使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	血小板2バッグ
76		受身好塩基球活性化試験の実用性評価とその改良	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血170本
77		UV LEDを利用した血液製剤感染因子低減化の可能性	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿14バッグ、血小板9バッグ、その他(血小板製剤容量調整残余血)78バッグ
78		分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血55本
79		造血細胞移植用にならない臍帯血の有効利用法の検討(脳血管再生治療法の開発)	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	白血球除去フィルター198個
80		生体内を模倣した血小板機能評価方法の開発	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	全血8バッグ、赤血球27バッグ、血小板25バッグ、その他(血小板製剤容量調整残余血)19バッグ
81		副作用関連検査の開発・検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血65本
82		血小板抗体・抗原検査法検討	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血134本
83		副作用検査の試料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血145本
84		PC-HLA関連検査に使用する試料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血16本
85		血小板の品質改善	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血小板43バッグ
86		血液型検査用試薬製造委託原料としての使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球64バッグ
87		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球139バッグ、血漿35バッグ、検査残余全血684本、検査残余血漿14本
88		モノクローナル抗体力価試験	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血68本
89		品質試験実施のための使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1,280本
90		血清学的検査陽性かつ個別NAT陰性検体の解析のための使用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血漿57バッグ
91		K _ε 遺伝子解析の試料としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血51本

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
92		NATスクリーニング判定不能血液の精査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
93		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球36バッグ、検査残余全血3,284本
94		採血部門に係る教育訓練としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体80本
95		検査に係る教育訓練としての使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血31本
96		血清学的検査陽性かつ個別NAT陰性検体の解析のための使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	全血8バッグ、血漿115バッグ
97		HIV陽性血の解析での使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	全血7バッグ、血漿487バッグ
98		苦情調査での使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血9本
99		血液型検査三次検査及び依頼検査等での使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血391本
100		受入試験での使用	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血6本
101		廃液試料中に含まれる白血球成分の有効活用の検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血28バッグ、白血球除去フィルター58個、検査残余血清200本
102		自動輸血検査装置の評価試験	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血9本
103		血清学的検査陽性かつ個別NAT陰性検体の解析のための使用	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①	全血31バッグ、血漿177バッグ、血小板2バッグ
104		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の解析	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血5バッグ、血漿211バッグ、血小板19バッグ、検査残余血清84本
105		血小板製剤中のエンドキシン検出法の検討のため	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2バッグ、血小板20バッグ
106		HTLV-1検査試薬の開発にかかる検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血1,678バッグ、血漿713バッグ、検査残余血清3,389本
107		HTLV-1陽転化パネルの作成	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血548バッグ、血漿245バッグ、検査残余血清834本
108		九州地区におけるダニ媒介感染症の疫学調査	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1,598本
109		検査試薬の受入試験及び品質試験における使用	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	HLA用検体29本
110		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル等の製造	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球64バッグ、検査残余血清510本
111		検査に係る教育訓練としての使用	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球1バッグ、HLA用検体6本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【KMバイロジクス株式会社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	シートを用いた肺癆修復における急性期の耐圧能および組織変化の検討	松谷 哲行	帝京大学医学部附属溝口病院 外科	教授	①	③	ボルヒーール組織接着用 108mL

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【KMバイオロジクス株式会社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	アジュバント活性を有する血液成分の探索	副島 見事	KMバイオロジクス株式会社 研究開発推進部	研究開発推進部長	②	②	ヘパリン結合担体吸着画分 0.4L

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【一般社団法人日本血液製剤機構への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	ウイルス除去フィルターの除去機構解明		旭化成メディカル株式会社 バイオプロセス事業部		①	①	(外観検査不合格品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 5g): 454本
2		ウイルス除去フィルターの除去機構解明		旭化成メディカル株式会社 バイオプロセス事業部		①	①	(有効期限切れ) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 0.5g): 5,714本
3	○	川崎病患者血清中のCOVID-19関連抗体に関する研究		東京都立小児総合医療センター		①	①	(外観検査不適合品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 0.5g): 2本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 2.5g): 2本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 5g): 6本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 10g): 3本
4	○	免疫グロブリン製剤による病態介入機序解明研究		名古屋大学 先端医療開発部		①	①	(外観検査不適合品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 2.5g): 1本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5g): 1本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(10%, 5g): 1本
5	○	免疫グロブリン製剤による病態介入機序解明研究(検体追加)		名古屋大学 先端医療開発部		①	①	(外観検査不適合品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5g): 1本 ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 10g): 1本
6	○	免疫グロブリン製剤による病態介入機序解明研究(検体追加)		名古屋大学 先端医療開発部		①	①	(外観検査不適合品) ・献血ヴェノグロブリン-IH(5%, 5g): 1本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【一般社団法人日本血液製剤機構内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		JB自己使用 ・新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発				①	①	【規格外：有効期限切れ・外観検査不合格品など】 ・フィブリノゲンHT(1g)：22本 ・献血ヴェノグロブリンIH(5%、1g)：1本 ・献血ヴェノグロブリンIH(10%、2.5g)：2本 ・献血ヴェノグロブリンIH(10%、5g)：20本 ・献血ヴェノグロブリンIH(10%、10g)：2本 ・ハプトグロビン小分け 1本 ・クロスエイトMC 1020単位 ・アルブミン25%、50mL 93本 ・アルブミン20%、50mL 32本 ・抗HBsグロブリン200単位/1mL 5本 ・分画II+III(沈殿)：3.7kg
2		JB自己使用 ・新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発				①	②	【試験製造産物・未利用/廃棄画分など】 (100ml/100g未満は四捨五入) ・PTC濃縮液：48L ・分画I(沈殿物)：77.4kg ・分画II+III(沈殿物)：300g ・分画II+III(上清)：3L ・分画IV-4(上清)：2L ・分画IV(沈殿)：1kg ・分画V(沈殿)：200g ・分画V(上清)：1L ・分画IV(沈殿)由来産物：(50g未満) ・ハプトグロビン原画分：10L
3		JB自己使用 ・新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発				①	③	【原料・中間体・半製品など】 (100ml/100g未満は四捨五入) ・凝固因子製剤用原料血漿：20袋(4.9L) ・プール血漿：100mL ・脱クリオ血漿：100mL ・クリオプレシテート：219.3kg ・分画II+III(沈殿)：5.7kg ・分画FV(沈殿)：749kg ・フィブリノゲンHT原画分：(50g未満) ・ハプトグロビン集合液：(50mL未満) ・ヘパリンカラム洗浄画分：(50mL未満) ・AT-III濃縮液：(50mL未満)

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本製薬株式会社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		日本製薬株式会社 自己使用 (一般研究)				①	③	沈殿V 1kg 献血グロベニン-I中間沈殿物 4.1kg 献血グロベニン-I原画分 1.511kg 献血グロベニン-I 500mg 100本 献血グロベニン-I 5000mg 10本 ガンマグロブリン筋注1500mg 2本 沈殿II+III 19.4kg
2		日本製薬株式会社 自己使用 (試験製造)				①	③	上清II+III 4.531kg 献血グロベニン-I原画分 34.444kg

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの